

もんし

発行所 光山寺
〒758-0063
萩市 大字山田4553
TEL (0838) 22-1370
http://kousanji.net

かたつむり
どこで死んでも
我が家かな
小林一茶

新・光山寺参拝者用駐車場

この度、旧白水保育園跡地(市有地)を購入し駐車場として整備いたしました。これにより法要やお彼岸・お盆等の駐車場の混雑時の改善が見込まれます。また、車用参道の駐車場区画を拡大いたしました。これにより従来より駐車がしやすくなり、乗り降り時の利便性が改善しました。



旧白水保育園跡地は市有地でしたが、法要等の時には、一日六千円(一台三百円×二十台)で借り受けていました。昨年秋、萩市より競売公示がなされたので、入札・落札いたしました。また、雑木や雑草など足元が悪い状態でしたので、舗装し広めの車両区画の白線を引いて整備いたしました。

山側添いに白水小学校からの下水管が通っている関係で、舗装された山側部分は一部市有地のままですが、萩市と覚書をとり交わし利用させていただくこととなりました。

また、白水小学校運動場からの砂飛散や泥水の流れ込み防止の為、運動場との境に低い壁を設置いたしました。しかしながら、白水小学校への救急車両の進入路確保や小学校側の利便性を考慮し、一部壁を開いて通行できるようにしています。小学生も通行することが予想されます。ご門徒の皆さまには駐車場内での事故や盗難などには充分にご注意してご利用ください。光山寺ではこれらの責任を負いかねますことをご承知おきください。

現在、ご本山(西本願寺)では、宗祖親鸞聖人の御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年の慶讃法要が勤修されています。萩組の団体参拝も一回目の参拝は終了し、ゴールデンウィーク明けには二回目の団体参拝が行われる予定です。コロナ禍でもあり参拝人数が制限されていますが、直接参拝には空きがあるようです。五月二十一日まで勤修されていますので、是非お参りください。さて、萩組と山口教区でも今秋には同法要が勤修されますので、ご予定ください。

◎萩組・親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃法要
九月十六日(土曜日) 午後一時半より
場所：萩市総合福祉センター(予定)
講師：児玉保子(長崎教区)

◎山口教区・親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃法要
十月二十一日(土曜日) 午前十時より
場所：KDDI維新ホール(新山口駅側) 講師：未定

■仏壇じまい・墓じまい・無縁共同墓に関して■
近年、急激に空き家が増加しています。若い世代の方々が地元を離れるためです。この為、仏事が継承されず、仏壇じまい、墓じまいの相談が激増しています。まず、仏壇じまいの場合ですが、お宅に後継者がいらつしやる場合とそうでない場合で違います。後継者が都会等にいらつしやる場合には、小さくても構いませんので必ず礼拝用仏壇に入仏式を行い、位牌や過去帳等をご持参ください。家じまいの場合で、全く後継者がいらつしやらない場合、仏壇じまい勤行の後、お位牌や過去帳は関係者がお持ちください。

次に、墓じまいについてです。必ず墓地管理者(寺院や市など)の規程にしがって墓石を処分してください。墓石は墓石店さんが処分してください。また、必ず墓じまい勤行を行いましう。光山寺納骨堂等に改葬される場合は、萩市の改葬許可証を持参願います。完全無縁となり光山寺無縁共同墓に納骨希望の方には、再火葬をして、骨壺は一つに纏めてもらっております。納骨時の費用は、納骨堂購入と同等の永代経懇志を頂戴しております。

尚、納骨堂を維持されていたお宅が無縁となり、共同墓へ改葬する場合には、特に懇志額は定めておりません。詳細についてはお問い合わせください。

令和五年度前半の光山寺行事予定の一覧です。
万障繰り合わせてご参加ください。

★光山寺法要
五月一日(月・火曜) 春季永代経法要(講師、中山和泉師)
九月二六・二七日(火・水曜) 秋季永代経法要(講師、御園生吉尚師)

★山口教区・萩組
六月三日(土曜) 萩組総代会総会・研修会(三千坊) 代表のみ
六月八日(木曜) 山口別院、永代経法要(萩組参拝日)
六月未定日() 萩組仏教壮年会総会・研修会(清光寺)
六月一九日(月曜) 萩組仏教婦人会大会(福祉センター)
七月未定日() 萩組子供一泊合宿
九月十六日(土曜) 萩組慶讃法要(萩市総合福祉センター) 再開計画中

★子供会(土曜学校) 再開計画中

★仏教青年会 同上

★仏教壮年会
五月二十七日(土曜) 午後七時 仏教壮年会総会(本堂)

★仏教婦人会
五月二一日(日曜) 午前九時半 光山寺初参式
六月二二日(木曜) 午前八時 清掃・莊嚴・リハーサル
六月二六・二七日(土・日曜) 婦人会法座(講師、大來尚順師)

★総代会 六月二一日(日曜) 午後二時 合同
★護持会 六月二一日(日曜) 午後二時 総会(本堂)

★お経の練習会(旧、礼讃の夕べ) 午後八時(本堂)
五月十三日(土曜)・六月十日(土曜)・七月八日(土曜)
八月五日(土曜)・九月九日(土曜)・十月七日(土曜)

★親鸞聖人讃仰会 午後八時(本堂)
六月一九日(月曜)・八月二一日(月曜)・十月十六日(月曜)

★雅楽練習会 午後七時半(庫裏) 六月四日(日曜)

★ヨガ教室 午後四時四〇分(庫裏)
五月六日(土曜)・一三日(土曜)・二〇日(土曜)
六月三日(土曜)・一〇日(土曜)・一七日(土曜)

※コーラスの練習日程についてはお問い合わせください。

山口別院定例法座・毎月五日午後一時半(一月は十時半)
萩こころの電話(三分間法話) 電話25577710 西本願寺の時間(KR Yラジオ) 毎週日曜日午前六時から六時十分

山口別院定例法座・毎月五日午後一時半(一月は十時半)

光山寺行事案内

募集、お知らせ



●お経の練習会(旧、礼讃の夕)五月十三日(土曜日)午後八時より今年も!

「正信念仏偈」の練習をしてきました「お経の練習会」も今年で三十三年目となります。どなたでも参加できるお経の練習会として、本年も五月から十月までの月一度の練習(原則第二土曜日の午後八時)で、お経本(聖典)を中心に日常の基本的動行の一通りを練習したいと思えます。昼間開催を願う声も大きくなつてきましたので、六月より開催時間を変更となるかもしれません、その際には改めてご連絡します。お経本をお持ちでない方は光山寺にて用意しますので参加当日にお申し出ください。最近新しい参加の方も増えつつあります。特に壮年の方、はじめて参加の方は大歓迎です。(お申し込みは不要無料です)

2023年(令和5年)5月1日(月曜日)

●光山寺初参式 五月二十一日(日曜)午前九時半

親鸞聖人のご誕生月である五月には毎年婦人会主催により初参式を実施しています。今年も五月二十一日光山寺本堂にて開催されます。生後三年くらいまでのお子さんが対象となります。仏の子として育てるため仏教のご縁に初めてあう合同の初参式です。昨今子供の減少が激しいところですが、どうかご親戚等に対象となるお子さんがいらつしやいましたら是非お申し込み、ご参加ください。尚、お子さんのお名前生年月日等を光山寺までご連絡ください。当日参加できない方は個別の初参式や自宅での初参式も受け付けています。



●親鸞聖人鑽仰会 会員募集!

親鸞聖人のみ教えを鑽仰し、同朋としての親睦を深める事を目的とした「親鸞聖人鑽仰会」を四月よりスタートしましたので、新規会員を募集いたします。ご門徒に限らず、年齢・男女を一切問わず、広く親鸞聖人のみ教えを勉強する学習会です。年会費は二千元で二ヶ月に一回の開催。昨年度からは『歎異抄』を正しく学ぶことを中心に学習しています。『浄土真宗聖典(註釈版)』が必要となりますが、お持ちでない方は申し出てください。尚、開催は偶数月第三日曜日の午後八時より(次回六月十九日)となりますので、ご注意ください。(詳細は別紙にて申し込みください)

●仏教壮年会 グループLINEに登録を!

仏教壮年会(会長、尾方忠久)では、本年度の総会・研修会を五月二十七日(土曜日)午後七時に開催いたします。本年も秋にグラウンドゴルフ大会(十月二十二日)を開催予定としております。本年度から女性の参加者も広く募集予定です。また、会員相互の連絡を密にするためLINEのグループ「光山寺仏教壮年会」を作成しました。各種案内や情報が受信できます。仏教壮年会の皆さまには、以下のQRコードよりグループ登録ください。



●除夜会で富くじ抽選会を開催

大晦日恒例の除夜会で富くじ抽選会が実施されました。例年、除夜会は大晦日午後十一時半すぎより開催されますが、平成二十六年より鐘をつかれる方全員に富くじ抽選券を配布し、除夜会終了後の新年のお勤めの「修正会」に引き続き、富くじ抽選会を実施しています。新型コロナウイルス感染症の関係で一昨年は掲示板発表としていましたが、昨年末は約五十名の参加者の中、富くじ抽選会を行いました。景品当選者は二十名でした。尚、景品出品に際しては、総代会と仏教青年会より、また福引き抽選会では仏教壮年会員にご協力頂きました。



●三カ教室募集中

「腕はあがりませんか?」「何もないところで つまづいていませんか?」「実生活でスムーズに動ける身体作りを無理なく、スローペースのヨガ教室で!まずは体験から。」



●関東エリアの法務に関して

住職次男の啓が、今春より東京で就職いたしました。これで、長男・次男ともに都内在住となりました。関東エリアのご門徒の皆さまには土曜日・日曜日などの週末時でありましたらご自宅での祥月・法事等の法務に対応いたします。ただし、必ずご希望日に対応できるとは限りませんので、早めの日程調整のご連絡を頂戴できたら幸いです。尚、築地本願寺等を会場とされる場合には、別途会場使用料がかかります。また、県外エリアの法務につきましては、対応できかねる場合もありますので、帰省されての光山寺で仏事か、ご自宅の場合には他の真宗寺院に代行していただく場合もあります。いずれにしましても、早めに法務のご相談・ご連絡を頂戴いただきますようお願いいたします。



《念仏者列伝》 小林一茶②(一七三三〜一八二八)

小林一茶は、五十七歳の時、元旦から暮れにかけての一年間の句文集『おらが春』を著します。最も幸せに包まれた時でした。その後、六十一歳の時、妻「きく」が三十七歳で亡くなり、翌年三十八歳の「ゆき」と再婚しますが、すぐに離婚。そして、亡くなる前年に三番目の奥さん「やを」(三十二歳)を迎えました。が、六十五歳の六月、柏原の大火で一茶の家は類焼にあい、門人宅に身を寄せます。

十一月八日柏原(新潟県)に戻り、同月十九日土蔵の仮住まいの中で中風の再発で亡くなります。法名は「釈一茶」でした。一茶が亡くなった翌年の四月に娘「やた」が生まれています。一茶の生涯を概観してみた時、決して家庭的に恵まれていたとはいえず、十年にわたる遺産争い、持病のおでき、中風等に終始悩まされています。そして、当時の俳諧の世界での軋轢と相まって、苦難の生涯であつたといえます。

●やさしさの秘密

父を看病していた時(三十九歳)に書かれた『父の終焉日記』に次の言葉がみられます。

五月十六日「父の本復うたがひなしと力を添る人は詞のつやながらもうれしく、往生をすすむる人は、誠かはしらねどもうらめしき。」と、父の病状が悪化し、見舞いに訪れた客がこう述べたこと、また父の死後、遺産相続争いのすさまじさ、そして、遺産相続の件が和解し、妻を迎えた後の一茶の心とを比較してみると、念仏一茶といわれるように、より一層の仏法への思いの深化が見受けられるようになります。

その後、五月二十一日、父が六十九歳で往生します。「生き残る 我にかかると 草のつゆ」との一句を詠んでいます。

妻をめぐり、最愛の子どもたちの夭折や妻との相次ぐ離別という逆縁を経て、聴聞に励み、真実信心の世界に出遇つていったといえます。また、柏原という地で培われてきた念仏の風土の中で育てられ、父弥五兵衛の信心に生かされていった姿を通じて、体現されたといえるのではないのでしょうか。

(つづく)